

国際会議報告



2nd National Conference on Microwave Power Applications in Chemical Industry and Engineering 出席報告

Report on the 2nd National Conference on Microwave Power Applications in Chemical Industry and Engineering

東北大学大学院工学研究科 吉川 昇

School of Engineering, Tohoku University, Noboru Yoshikawa

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-02

e-mail: yoshin@material.tohoku.ac.jp

中国化工学会のマイクロ波エネルギー化学工業応用事業委員会 IMPACIE (Institute of Microwave Power Applications in Chemical Industry and Engineering) が主催し、2年ごとに全国大会が行われている。2018年の大会には JEMEA から二川先生が出席され、JEMEA 機関誌第4巻、第2号にその報告記事が掲載されている。今回は広東省湛江において、2020年12月11日から13日まで開催された。

中国においては、すでに平常通り会場ホテル内において対面形式で会議が行われたが、JEMEA からは福島理事長と小生が on-line で参加し、基調講演を行うことになった。まず本大会の代表である四川大学の Huang Kama 教授はじめとして、我々を含む11件の基調講演が行われた(図1)。またその題目(英訳)を表1に示す。

本会議は中国の国内会議であるため、我々以外の講演は全て中国語で行われた。基調講演においては、それを on-line で聞くことができた。言葉は分からなかったが、ppt ファイルの図面から、大凡の研究内容を予想することができた。我々の講演は zoom を用い、その画面がスクリーン上に映し出されていたようである。事前にもらっていた Background を使って多分図2のように写っていたのであろう。

基調講演に続いて、以下の3セッションに分かれて一般講演が2日に渡って行われた。セッション名と発表件数は以下の通りである。

1: 化学工業、冶金、製薬、環境処理、食品工業へのマイクロ波応用 (44件)、

2: マイクロ波パワーデバイス、システム (7 件)

3: マイクロ波計測とシミュレーション(31 件)

会議には総勢 200 名程度の参加があり、gala dinner のサポーターなどを含め 10 件の Exhibitor が加わったとのことである。

今回はこのような形式で会議が行われたが、Prof. Huang Kama によれば、2020 年に延期された 4GCMEA の前にも英語による日中合同会議を行いたいとのことである。彼らの積極性とともに、今後とも両国の MW 研究の発展を推進して行きたいと考えられる。何れにしてもコロナが終息し、対面で会議を行っている先方は羨ましい限りである。



図 1: (左)Prof. Huang Kama による基調講演、(右)講演会場の様子

表 1: 基調講演題目

Plenary talk		
name	Title	
Huang Kama	Advanced Microwav Heating Technology and Chemical Application	
Cheng Zheng	Research on Dimensionless Quasi-Number Model of Microwave Reaction Kinetics	
Fukushima Hideoki	Recent activities of JEMEA, Japan Society of Electromagnetic Wave Energy Applications	on-line
Hu Wenxiang	Research on the Application of Microwave Catalysis in Organic Medicinal Chemistry	
Gao Xin	Research on Theory and Application of Microwave Enhanced Chemical Separation Process	
Xu Jianxi	Microeave and Organic Chemical Reaction Selectivity	
Zeng Baoqing	Unconventional Convective Heat Transfer of Liquid Microwave Heating	
Yoshikawa Noboru	Twenty years' research on microwave power application and fundamentals	on-line



図 2: 発表における zoom 画面 (創作)